日本風景街道だより

2008年増刊号

シーニックバイウェイ北海道　地域交流会議　全道フォーラム２００８

シーニックバイウェイ北海道推進協議会

１．開催概要

シーニックバイウェイ北海道の取組は、本格始動から今年で４年目を迎え、５月には７番目のルートが日本風景街道に登録されました。本年の地域交流会議は、活動の更なる発展を目指し全道の活動団体、関係機関、民間企業等の約 180 名が参集し、ルート活動の成果や知識・経験の共有とスキルアップの場として、２日間の日程で開催されました。

◆日　程　平成 20 年 11 月 23 日（日）、24 日（月）

◆会　場　生活支援型文化施設コンカリーニョ

◆概　要　11 月 23 日／ルート認定証授与式、シーニックバイウェイセッション、基調講演、ポスターセッション
11 月 24 日／全道ルート代表者会議、シーニックワークショップ

２．開催内容

（1）ルート認定証授与式

平成１８年より候補ルートとして独自の活動を続けてきた「萌える天北オロロンルート」の指定に伴いルート認定証授与式が行われました。西ルート代表からは、隣接する宗谷ルートとの広域連携等、今後の抱負が述べられました。

（2）シーニックバイウェイセッション

セッションでは、７指定ルートの他、４候補ルートから活動報告が行なわれました。指定ルートからは、２年以上継続し活動が定着している取組を中心に全体で１９件のプロジェクトの発表が行われました。参加者の投票により、支笏洞爺ニセコルートの「シーニックナイト」、大雪・富良野ルートの「ウィンターサーカス」、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの「ルートＨＰを活用した全国一般ユーザーとの双方向交流」の３件のプロジェクトが「活動の持続性」、「地域への波及」の視点から優秀賞として選出されました。

（3）基調講演

基調講演は「シーニックバイウェイ北海道の目指すべきもの～米国の取り組みと全国の注目事例を考えて～」と題し、筑波大学大学院システム情報工学研究科教授石田東生氏より、米国の実践事例を始め、国内の取組状況など貴重なお話をいただきました。

（4）ポスターセッション

ポスターセッションは、各ブースにおいてルートの説明者からポスターやグッツ等を用いた活動報告が行なわれ、審査委員会を主にルートとの活発な質疑応答が繰り広げられました。趣向を凝らした発表の様子は、スクリーンに映され会場全体に共有されました。

（5）全道ルート代表者会議

会議は、ルート代表者、推進協議会、シーニックバイウェイ支援センターが参加し、活動における連携・情報共有等の推進方策について、全道的視点から意見交換が行なわれました。

（6）シーニックワークショップ

ワークショップは、活動を推進する上で課題となっている「ルート運営」「外国人対応」「景観改善」「環境・エコツーリズム」の４つのテーマで開催されました。各ルートの先進事例や各機関の取り組み紹介、有識者のアドバイス等、参加者と実践的意見を交わすワークショップとなりました。

３．おわりに

全道の活動団体をはじめ、道内外のシーニック応援団が集結した２日間の地域交流会議は、各ルートの持続的な活動と来年の再会を約束し閉会となりました。

登録１０団体が意見交換「北陸　風景街道交流会議」

北陸 風景街道協議会

1.「北陸 風景街道交流会議」とは

北陸風景街道協議会では、ブロック内の風景街道登録ルートを対象に、活動を円滑・効率的かつ継続的に進めていくための支援の一貫として、平成 18 年度から「北陸 風景街道交流会議」を年1回のペースで開催しています。

各ルートの活動団体が一同に会して、活動内容や仕組みづくり、組織運営などについて情報交換を行うことで、役立つアイデアや情報を参加者全員が共有し、それぞれの活動に活かされることが目的です。

3 回目となる今年は、8 月 26 日・27 日の2日間にかけて、アミューズメント佐渡（新潟県佐渡市）を会場に、新潟・富山・石川の各地から登録 10 団体（約 100 名）が参加しました。

当日配布チラシ

2．ディスカッションで意見交換

交流会議では、各団体からこの 1 年の活動内容について報告があり、その後、参加者の皆さんと3名のコメンテーターを交えたディスカッションが行われました。

活動報告の様子

ディスカッションでは、「日本風景街道の理念・共通認識」、「活動継続のための組織運営」、「地域活性化のための手法」などをテーマに議論が交わされ、参加者からは、各登録ルートにおける活動を通して、活発な意見が出されました。

継続的な組織運営については、「2、3年が限度で、目に見える成果がないと離れていってしまう人がいるかもしれない」、「資金確保の面で、行政の支援がほしい」など、各団体から人材や資金確保など共通の課題が出されました。これに対し、コメンテーターからは「今いるメンバーがいつまでもいることはあり得ないという考えが必要。資金面では、民間の助成金などを活用するなどして、経営の視点を忘れないでほしい」とアドバイスされました。

また、広報戦略については、「誰に、どんな目的で、何を伝えるのか、という広報の基本部分が大切。お金が掛かる場合は、商工会議所などとうまく連携したり、広域的なPRを展開した方が効果的」とのアドバイスがあり、参加者の多くは「おおいに参考になった」、「風景街道の理念がよく分かった」など会議に対して好評の意見でした。

ディスカッションの様子

【コメンテーターの紹介】
○臼井　純子　さん
（株)富士通総研第一コンサルティング本部取締役・PPP 推進室長
（シーニックバイウェイ北海道審査員）
○丁野　明　さん
（社)日本観光協会常務理事・総合研究所所長
（カーたび「自動車旅行推進機構」幹事）
○酒井　孝　さん
（社)雪センター理事長（手づくり郷土賞選定委員）

３．おわりに

会議終了後、開催地の活動団体「佐渡國しま海道」主催で行われた交流会では、和やかな雰囲気の中、参加者同士交流を深め、2日目も団体の案内で、佐渡を現地見学しました。今後もこのような交流会議を継続し、活動の活性化や、団体同士の連携した取り組みなどに結びつけばと思います。

交流会での情報交換の様子

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。

掲示板利用の登録や、日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 （北海道開発局　建設部　道路計画課　内）	加納　民雄	011-709-2311（代表）（内線 5357）
東北風景街道協議会 （東北地方整備局　道路部　道路計画第二課　内）	本木　雅信	022-225-2171（代表）（内線 4256）
風景街道関東地方協議会 （関東地方整備局　道路部　道路計画第二課　内）	川崎　浩之	048-601-3151（代表）（内線 4253）
北陸　風景街道協議会 （北陸地方整備局　道路部　道路計画課　内）	村下　剛	025-280-8880（代表）（内線 4213）
風景街道中部地方協議会 （中部地方整備局　道路部　計画調整課　内）	尾出　清	052-953-8119（代表）（内線 4312）
近畿風景街道協議会 （近畿地方整備局　道路部　地域道路課　内）	脇本　邦裕	06-6942-1141（代表）（内線 4612）
中国地方風景街道協議会 （中国地方整備局　道路部　地域道路課　内）	小川　治	082-221-9231（代表）（内線 4613）
四国風景街道協議会 （四国地方整備局　道路部　地域道路課　内）	沖上　茂人	087-851-8061（代表）（内線 4612）
九州風景街道推進会議 （九州地方整備局　道路部　道路計画第二課　内）	中川　英一	092-471-6331（代表）（内線 4252）
沖縄地方風景街道協議会 （沖縄総合事務局　開発建設部　道路建設課　内）	崎間　斉	098-866-0031（代表）（内線 4353）

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年４回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html

発行：国土交通省道路局地方道・環境課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関２－１－３
TEL: 03-5253-8497　FAX: 03-5253-1622